

一般国道13号福島市 しのぶ おおはし 信夫大橋歩道整備の効果

歩道拡幅により通行者が安全を実感

一般国道13号信夫大橋では通勤通学時を中心に自転車利用者が非常に多く、歩道幅員が前後区間に比べ狭いため、安全な通行に支障がありました。そのため、歩道拡幅工事を実施し、平成24年3月に完成しております。この度、主な通行者である高校生を対象にアンケート調査を行った結果がまとまりましたのでお知らせします。

【効果の概要】

- ①通学生の9割が「安心して通行できるようになった」と回答
- ②整備前に危険を感じていた生徒のうち、7割以上が安全性向上を実感

(県立福島商業高校の通学生へのアンケート結果)

※詳細については別添資料を参照してください。

《発表記者會 : 福島県政記者クラブ・福島市政記者クラブ》

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局
福島河川国道事務所 建設専門官 馬場 範夫 TEL:024-539-6130

歩道拡幅により、通行者が安全を実感

(平成24年3月供用)

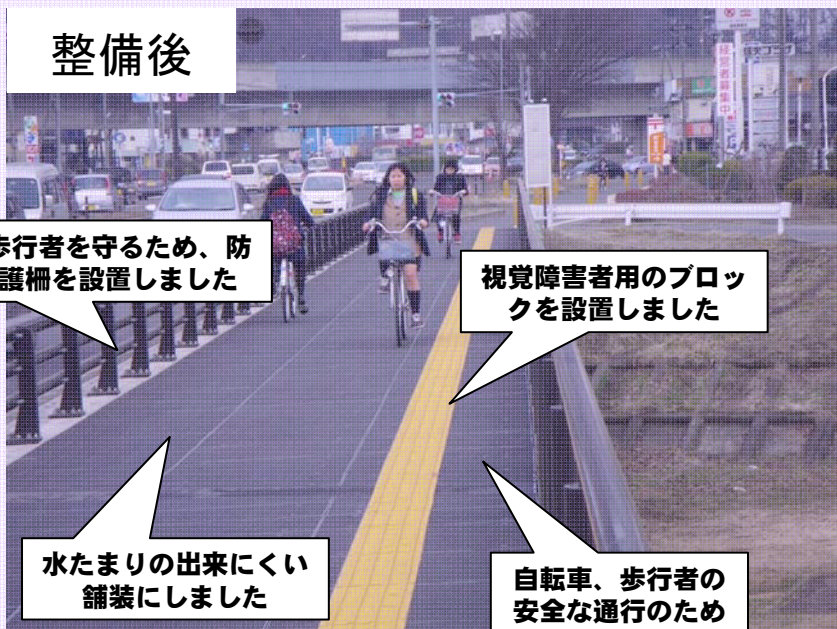


- 通学生の9割が「安心して通行できるようになった」と回答
- 整備前に「すれ違い時にぶつかりそうになった」との危険を感じていた生徒のうち、7割以上が安全性向上を実感

○高校生アンケートでは・・・

- ・通学生の9割は「整備後に安心して通行できるようになった」と回答
- ・通学生の6割が整備前に「歩行者や自転車とすれ違う時にぶつかりそうになった」との危険を感じていた。
⇒危険を感じていた生徒のうち、7割が整備後に「歩行者や自転車とぶつかりそうになることが少なくなった」と回答

整備後



歩行者を守るため、防護柵を設置しました

視覚障害者用のブロックを設置しました

水たまりの出来にくい舗装にしました

自転車、歩行者の安全な通行のため歩道を広げました

至 山形

整備前



至 山形

工事期間：H23.3～H24.3

・整備内容：

- 橋梁歩道部の拡幅
- 歩車道間への防護柵設置
- 視覚障害者用ブロックの設置

国道13号信夫大橋歩道整備の取り組み

背景 ～以前の信夫大橋歩道の状況は～

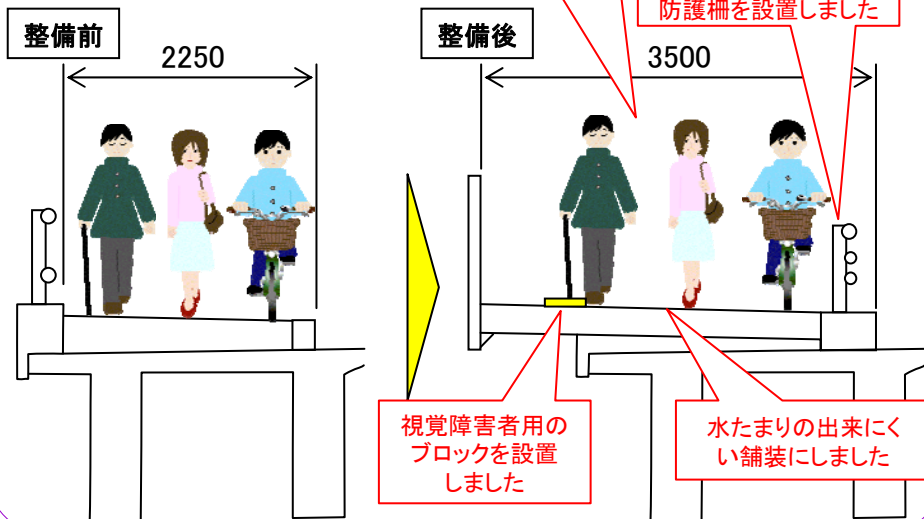
- ①通勤通学時を中心に自転車利用者が非常に多く、歩道幅員が前後区間に比べ狭いため、安全な通行に支障があった
- ②歩行者の方からは自転車とのすれ違い時に接触する危険性があるとの指摘があった

この状況を踏まえ、歩行者・自転車の安全確保を図ることを目的として、橋梁歩道部の拡幅工事を実施しました。

実施対策 ～実施した主な対策の内容は～

歩行者・自転車利用者の交通安全対策、歩道のバリアフリー化

- 橋梁歩道部の拡幅
- 歩車道間への防護柵設置
- 歩視覚障害者用ブロックの設置



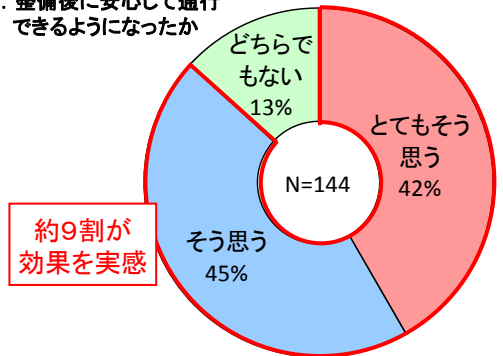
整備効果 ～対策による効果は～

整備後は錯綜が無く、すれ違いがスムーズに



通学生の9割が安心して通行できるようになったと回答

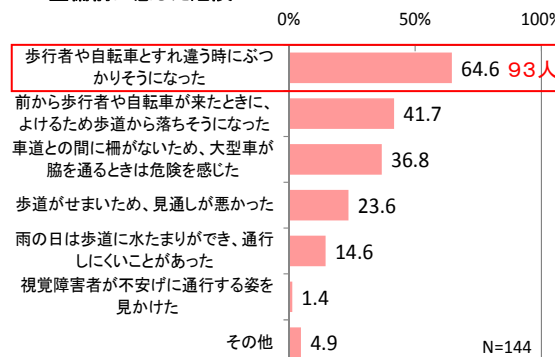
Q. 整備後に安心して通行できるようになったか



すれ違い時に危険を感じていた人の7割が安全性向上を実感

通学生の6割が整備前に「歩行者や自転車とすれ違う時にぶつかりそうになった」との危険を感じていたと回答

Q. 整備前に感じた危険



7割が整備後に「歩行者や自転車とぶつかりそうになることが少なくなった」と回答

Q. 整備後に歩行者や自転車とぶつかりそうになることが少なくなったか

